

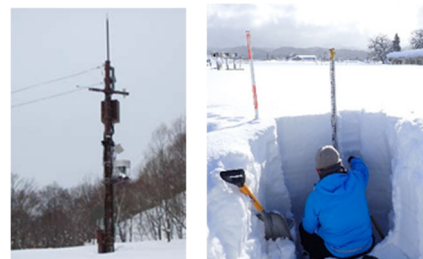
AI 分野×雪氷防災研究センター

雪氷防災研究センター（<https://www.bosai.go.jp/seppyo/>）は、新潟県長岡市の“雪氷防災研究センター”、山形県新庄市の“新庄雪氷環境実験所”からなり、雪氷災害（雪崩、吹雪、着雪、冬季道路事故、屋根雪事故等）軽減にむけ、降積雪の観測や低温室実験、またそれらに基づく各雪氷災害の発生危険性をセンシングする技術開発や予測するための研究を行っています。新庄雪氷環境実験所には、自然に近い雪の結晶の形状を有する降雪や吹雪などの雪氷環境をいつでも再現できる雪氷防災実験棟があり、研究者だけではなく、企業を含めて国内外のさまざまな人が利用しています。

また研究を通じて開発したセンシング技術や予測技術に関しては、“試験運用”という実証実験の形式で、冬期間リアルタイムで現状情報、予測情報を国の機関、県、市町村の担当者や民間企業等のステークホルダーに提供し、参照してもらうことで研究開発へのフィードバックを得ながら研究を進めています。このような研究の過程で用いている雪氷災害事例に関するデータ、気象データ、センシングデータなどの長年の蓄積があります。

<AI で使用できるデータ>

- 20 年以上にわたる詳細な気象観測データ
 - ✓ 気象条件
 - ✓ 降雪の種類（写真）の連続データ
 - ✓ 積雪状況



各地の降積雪観測データ

- 新聞記事を元にした 20 年以上にわたる独自の雪氷災害発生状況データベース
 - ✓ 災害の種類、発生箇所、日時等
 - ✓ 雪氷災害予測状況データベース

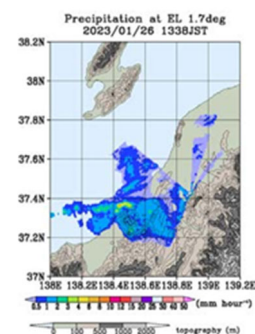


全国の雪氷災害データ

- センシングデータ（過去 3～5 年分）
 - ✓ レーダーデータ
 - ✓ 車載カメラで撮影した路面状況（2 秒毎）



路面状況データ（北海道、東北、北陸、関東の各地）



レーダーデータ